

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 16 日作成)

小委員会名	ライフスタイル小委員会	主 査 名：定行まり子 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会(住宅計画運営委員会)	委員長名：布野修司 主 査 名：高田光雄
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2010 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・個人や家族の生き方や生活のあり方に注目し、住宅建築についての研究活動を行う。</p> <p>・2008・2009 年度を通して、「少子社会における家族のゆくえと住まいのこれから」をテーマとして研究活動を行う。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>定行まり子(日本女子大学)大橋寿美子(湘北短期大学)佐々木誠(プレイスメイキング研究所)小池孝子(日本女子大学)浅沼由紀(文化女子大学)稲葉修(三井ホームデザイン研究所)宇杉和夫(日本大学)加茂みどり(大阪ガス)妹尾理子(香川大学)中山和美(東京電力)花里俊廣(筑波大学)牧野唯(奈良女子大学)山崎さゆり(田園調布学園大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2008 年度予算	195,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム(住宅計画小委員会との共催) 「少子高齢社会における家族と住まい NEXT21 における新たな試み」 参加者数 82 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	小委員会設置目的に沿って、新規加入委員が中心となり研究課題についての報告を行い、委員会において共有するという、発足初年度として相当の成果を得た。
委員会活動の問題点 ・課題	1. シンポジウム成果の一般への還元手法の検討 2. (1. と関連して)HP 公開による一般への情報提供の検討

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。